

2019 全日本ロード J rの部 大会報告

年に一度、日本一を決めるためのビッグイベント、全日本自転車競技選手権大会 J rの部ロードレースに出場権を獲得（全国選抜大会で30位以内）していた3年生の伊藤・大新が参加しました。今年の会場は2020東京五輪でも使われる静岡県・富士スピードウェイで、外周道路も使った特設コース（ロード1周10.8km）を用いて行われました。

6月28日（金） 男子ジュニア 午後12時10分スタート（11周=119km）



レースは、161名の選手がスタート。1周目からハイペースな展開となり、1周回終了時点で先頭集団は90名程度となっている。大新・伊藤はまだまだ余裕の表情で先頭集団に位置しているが、2周目に入り大新にアクシデント、前を走る選手がコーナーを曲がり切れずに転倒し、その選手に乗り上げ落車。ここで万事休す。復帰して走るも4周目でタイムアウトとなる。

一方、伊藤は順調に先頭集団に位置して、4周回目に入った。この時点での先頭集団は60名程度であるが、まだ落車が時々おきている様子。5周回目には補給を取りまだまだ余裕の表情で先頭集団で走っている。ところが、7周目に補給所に来た時点で先頭から1分遅れで10名程度の小集団で走っている。7周回目の外周道路のトンネル内で落車に巻き込まれ転倒は免れたが先頭から遅れてしまった。9周回でタイムアウトとなり本校の全日本は終わりを告げた。

2人のケガは、軽傷で自転車にも損傷がなかったのが不幸中の幸いであった。この借りは、沖縄インターハイのロードレースで返して欲しい。

なお、大阪府立千里高校の 天野君 が**2位**に入賞した！ 「おめでとう！」